

GIS NEWS LETTER

地理情報システム学会ニューズレター 第91号

発行日 ● 2014年9月25日
発行 ● 地理情報システム学会

目次

第23回研究発表大会のお知らせ	p1	ポスターセッション	p12
第23回研究発表大会プログラム概要	p2	機器展示	p13
第23回研究発表大会プログラム	p3	委員会報告	p14
特別セッション案内	p10	学会後援行事等のお知らせ	p14
ハンズオンセッション	p11	事務局からのお知らせ	p15

第23回研究発表大会のお知らせ

大会実行委員会 委員長 貞広 幸雄

第23回地理情報システム学会研究発表大会は、2014年11月7・8日（金・土）、中部大学春日井キャンパスにて開催されます。本年度も通常の研究発表（講演、ポスターセッション）に加え、多彩なセッション企画（国際シンポジウム、ワークショップ、ハンズオンセッションなど）のプログラムを予定しております。皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

研究発表大会の詳しい内容につきましては、後述のプログラムをご覧ください。但し、学会当日までに変更の可能性もありますので、学会ホームページ及び当日の大会会場における掲示も併せてご覧ください。

尚、発表会場（教室）が決定するのは10月中旬頃です。

■日時 2014年11月7日・8日（金・土）

- ・受付開始時間は、1日目、2日目ともに午前8時30分です。例年、初日朝は、受付が混雑いたします。また、今回は受付（リサーチセンター）と発表会場の建物が離れておりますので、午前中の講演者には事前登録をお勧めします。
- ・各口頭発表の持ち時間は発表15分、質疑5分です。時間厳守をお願いいたします。また講演者は、セッション開始前に会場にて機器動作確認などの準備をお済ませ下さい。
- ・ポスターセッションは2日間を通じて実施されます。昼休みがコアタイムですので、大会いずれかの日の昼休みには、各発表者共ポスターの前で質疑応答にご対応頂きますよう、お願い致します。

■場所 中部大学春日井キャンパス

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200

■交通アクセス

- ・JR中央本線神領駅より中部大学スクールバス（どなたで

もご利用頂けます）にて約7分、中部大学前下車

- ・JR中央本線高蔵寺駅より中部大学前行きバスにて約10分、中部大学前下車

■懇親会会場 ホテルプラザ勝川（JR中央本線勝川駅前すぐ）

- ・懇親会参加費：事前登録6,000円（当日受付7,000円）先着120名

■大会参加費（講演論文集のCD-ROM代金を含む）

正会員または賛助会員枠の参加者：

事前登録4,000円（当日受付6,000円）

学生会員：事前登録3,000円（当日受付4,000円）

非会員（一般および大学生以上）：

事前登録7,000円（当日受付8,000円）

高校生以下、70歳以上：無料

（必ず年齢を証明するものをご呈示ください）

- ・事前登録、当日受付とも、領収書を発行いたします。

■事前登録

ホームページ上の事前登録申込書に必要事項をご記入の上、代金を振り込んで学会事務局まで申込書をFAXにてご送信下さい。予約締切は、10月20日（月）です。

※期日までに入金が確認されない場合、事前受付はキャンセルとなります。

※事前登録には、請求書の発行ができません。

※大会が中止された場合に限り、講演論文集の代金を引いた金額を返金します。それ以外の返金には応じかねますこと、予めご了承下さい。

※9月末日までに手続きを完了された方は10月の連休明けを目途に、10月に入ってから手続きされた方は随時、領収書、ネームプレート、会場図等一式を郵送します。

第 23 回研究発表大会プログラム概要

11 月 7 日(金)

(2014.9.5 現在)

	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E	ハンズオン 会場	ポスター 会場
9:20- 11:20		自然・環境 (p. 3)	防災 1 (p. 3)	解析理論 (p. 3)	移動 1 (p. 3)		ポスター展示
							コアタイム
12:40- 14:20	East Asian International Symposium on GIS 【12 : 30 開始】	特別セッション (1) : 学校における 地理教育の見通しと GIS	防災 2 (p. 4)	人口・地域分析 (p. 4)	移動 2 (p. 4)	ハンズオンセッション (1) : QGIS &R ハンズオン	ポスター展示
14:30- 16:10	12:30 キーノート 13:20 国際 (1) 14:30 国際 (2) 16:20 国際 (3)	特別セッション (2) : オープンな GIS はどこまで可能か？—Daniel Sui 教授を迎えて—	防災 3 (p. 5)	自治体 (p. 5)	統計・解析 (p. 5)		
16:20- 18:00		特別セッション (3) : 自治体 GIS を考える～ワークショップ&デ ィスカッション	防災 4 (p. 6)	コーポラティブ GIS (p. 6)	交通・道路 (p. 6)	ハンズオンセッション (2) : クラウドGISを利用した 基礎的なGIS教育教材の作成と 共有	
18:30- 20:30	懇親会 (ホテルプラザ勝川) 会長挨拶、表彰式等						

11 月 8 日(土)

	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E	ハンズオン 会場	ポスター 会場
9:00- 10:40	特別セッション(4): GISCA1	特別セッション(5): 適切な国土・環境 計画のための地 理空間情報を活 用した地域特性区 分のあり方	施設配置 (p. 7)	商業・経済 1 (p. 7)	データ収集 (p. 7)		ポスター展示
10:50- 12:30	特別セッション(4): GISCA2	特別セッション(6): 災害対応における GIS の利活用の新 たな可能性を探る	歴史・考古 1 (p. 8)	商業・経済 2 (p. 8)	データ作成 1 (p. 8)	ハンズオンセッ ション(3): 第3回マイ クロジオデータ講 習会 ～Mobmap による人流データ 解析入門～	
							コアタイム
13:40- 15:40	特別セッション(7): 第7回マイクロジ オデータ研究会 ～クラウドソーシ ングで実現する新 しいマイクロジオ データ	観光 (p. 9)	歴史・考古 2 (p. 9)	可視化 (p. 9)	データ作成 2 (p. 9)	ハンズオンセッ ション(4): SfM による 簡単三次元モデリ ング	ポスター展示
16:00- 16:20	閉会式 (優秀発表賞の表 彰を含む)	参加費無料					

GISA-NL No.91 (2014/9/25)

第 23 回研究発表大会プログラム

GISA 大会発表申込書に依る(発表者は最初に記載 敬称略)

2014/11/7 (金)

9:20-11:20	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
	【12:30 開始】	B-1: 自然・環境 司会: 小口 高	C-1: 防災(1) 司会: 矢野 桂司	D-1: 解析理論 司会: 大佛 俊泰	E-1: 移動(1) 司会: 若林 芳樹
<p>East Asian International Symposium on GIS 【12:30 開始】</p> <p>キーノートスピーチ 【12:30-13:00】 司会: 村山 祐司</p> <p>A-2: 国際セッション(1) 【13:20-14:00】 司会: 大場 亨</p>		琵琶湖淀川流域を対象とした流域診断手法の開発とクラウドGISによる情報共有 ー日本版 Surf Your Watershed を目指してー 原 雄一, 佐藤 祐一, 片山 篤	【9:40 開始】	【9:40 開始】	都市内部の自転車走行実態 灘 弘貴, 田中 一成, 吉川 真
		国土のエリアマネジメントのための地域特性区分ー関東甲信越エリアを事例にー 岡 京祿, 水内 佑輔, 小荒井 衛, 中埜 貴元	情報伝聞が大地震時の広域避難に及ぼす影響 土屋 拓也, 大佛 俊泰, 沖 拓弥	空間分割間の類似性を評価する手法 貞広 幸雄, 小口 高	携帯電話の基地局通信履歴を用いた人々の活動分析 菅野 卓也, 金杉 洋, 関本 義秀, 柴崎 亮介
		都市における人間活動と熱環境の時空間分布を考慮したCO2排出シミュレーション 平野 勇二郎	アクセシビリティを考慮した災害時の避難圏域に関する検討 山元 隆稔, 蔣 湧	形状制約を設定したネットワーク上の点事象集積領域検出法の提案 塚原 元英, 井上 亮	シミュレーションと断片的な観測データの同化による平常時と異なる人の流動の予測 矢部 貴大, 関本 義秀, 金杉 洋, 樫山 武浩
		ソーシャルメディアを活用した緑環境の景観分析 村野 大智, 吉川 真, 田中 一成	避難シミュレーションによる地区ごとの避難計画策定の検討 畑山 満則, 中居 楓子, 矢守 克也	閉領域内の相対的立地位置の把握手法と大規模施設立地分析への応用 笹 圭樹, 鈴木 勉	大規模な人々の流動データセット整備へ向けた基盤技術の検討 金杉 洋, 樫山 武浩, 関本 義秀, 柴崎 亮介
		無人ヘリによる超高解像度画像を用いた海岸林の実態把握の試み 泉 岳樹, 山本 遼介, 大澤 啓志	自動車と徒歩の混在が津波避難に与える影響と交通手段制御施策効果の分析 佐藤 祥路, 鈴木 勉	地理情報科学論文データベースによる研究トピックと地名情報の分析 小野 雅史, 柴崎 亮介	時空間メッシュ集計データを用いたデータ同化手法による人流推定 若生 凌, 関本 義秀, 金杉 洋
		農地政策が農地転用と生物多様性に与える影響の定量的把握 今野 悟, 福本 潤也	積雪寒冷地における擬似的避難行動軌跡データを用いた避難経路の状況分析ー北海道ニセコ町を事例としてー 奥野 祐介, 橋本 雄一	人の流れデータを用いた駅勢圏の詳細推計に関する研究 竹内 佑馬, 伊藤 史子	フットパス活動におけるルートの検討と記録におけるGISの可能性 今井 修

2014/11/7 (金)

12:40- 14:20	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
		B-2: 特別セッション(1)	C-2: 防災(2) 司会： 畑山 満則	D-2: 人口・地域分析 司会： 山下 潤	E-2: 移動(2) 司会： 関本 義秀
	キーノートスピーチ 【12:30-13:00】 Geospatial Information for Creative Economy Hosang Sakong (韓国地理情報学会会 長)	学校における地理教育 の見通しと GIS オーガナイザー： 酒井 高正	【13:00 開始】	教育ジオデモグラフィ クスの試論的試み 貞広 斎子, 貞広 幸雄	【13:00 開始】
			人的被害を考慮した新 しい洪水リスク評価手 法の提案	大学キャンパスの移転 に伴う学生の居住地お よび通学行動の変化	Google ストリートビュー のパノラマ画像を利用 した天空率算出シス テムの提案その 2 シ ステムの改善とその利 用可能性ー
	A-2: 国際セッション(1)		森川 健太, 三谷 泰浩, 池見 洋明, Jafar Hartono, 月原 雅貴	桐村 喬, 矢野 桂司	西尾 尚子, 伊藤 史子
	MMS と UAV を用いた東日 本震災復興アーカイブ の試みー宮城県岩沼市 を対象にー Takeki Izumi and Ryosuke Yamamoto		積雪寒冷地沿岸におけ る都市開発と津波災害 リスクに関する空間分 析 川村 壮, 橋本 雄一	地域の人口構成と都市 施設への利用状況とア クセシビリティに関す る空間解析 川向 肇, 岩場 貴司	公共地下空間における 歩行者の滞留特性 松尾 佳津史, 田中 一 成, 吉川 眞
	A Fractal Approach to Dasymetric Population Estimation Byong-Woon Jun		地方自治体における自 立的な津波ハザードマ ップ作成のための PM 手 法適用可能性に関する 検討 深田 秀実, 橋本 雄一	鉄道の廃線に伴う人口 構造の変容分析ー北 陸地方におけるケース スタディ 玉川 英則, 岡 智史	ウェブ・マップの利用パ ターンとその個人差の 規定因 若林 芳樹
	A study on use of GIS for consensus building a region ~A case of workshops using GIS to the community leaders and administrative officer in rural area ~ Kazuya Aoki, Akihiro Teraki and Motohiro Kamata			住民の意思と世帯収入 を考慮したまち並み推 定に関する研究ー大和 郡山市城下町を対象と してー 本多 健一	写真情報に基づいた景 観現象の時空間分析 大野 陽一, 吉川 眞, 田中 一成

GIS NEWS LETTER

2014/11/7 (金)

14:30-16:10	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
	A-3 : 国際セッション (2) 司会： 中谷 友樹	B-3 : 特別セッション (2)	C-3: 防災 (3) 司会： 吉川 眞	D-3: 自治体 司会： 太田 守重	E-3: 統計・解析 司会： 奥貫 圭一
	An area-weighted index for measuring urban land expansion	オープンなGISはどこまで可能か？—Daniel Sui 教授を迎えて— オーガナイザー： 瀬戸 寿一	大規模災害時における都市ガス復旧作業支援GISと復旧情報公開の取り組み	固定資産税における路線価流れ図の作成	Spatio-temporal Analysis Based on Locally Linear Model and Bayesian Approach
	David Karacsonyi and Kang-tsung Chang		久世 晋一郎, 北野 哲司	青木 和人, 武田 幸司, 矢野 桂司, 中谷 友樹	Alipoureshliki Sajad, 大佛 俊泰
	Automatic Generation of 3D Building Models by Building Polygon Rectification		道路閉塞情報の緊急車両到着時間短縮効果とその地域特性	北海道釧路市における認可保育園の立地と津波災害時避難に関する空間分析	地理的加重回帰分析を用いた新型インフルエンザの流行パターン解析：茨城県における公立小中学校の閉鎖措置実施データを用いて
	Kenichi Sugihara, Xinxin Zhou and Zhenjiang Shen		廣川 典昭, 大佛 俊泰, 沖 拓弥	最上 龍之介, 橋本 雄一	永田 彰平, 中谷 友樹
	A case study to construct the planning base map and population density distribution for the third world urban area		災害情報投稿・閲覧のためのリアルタイム同期型 Web アプリケーションの開発	GISを活用した固定資産税土地評価について - 特に状況類似地域の区分、標準宅地評価価格・路線価の検証 -	小地域人口統計の平滑化に関する汎用的手法の開発とその適用
	Seok-Joon Lee, Sung-Hoon Kim and Nae-Young Choei		丹羽 一輝, 大佛 俊泰, 沖 拓弥, 廣川 典昭	川越 みなみ, 今村 政夫, 高井 渉, 桜井 秀宣	井上 孝
	Spatial Pattern and Cluster Analysis of Population Distribution by Employment Sectors in Tokyo Metropolitan Area		災害時の地理空間情報の共有を実現するクリアリングハウスの開発	位置情報サービスにおける認証つきコンテンツの指定と管理手法の提案	Q状態ポッツモデルを用いた産業集積の検出
	Tawhid Monzur and Yan Li		田口 仁	鍛冶 秀紀, 有川 正俊	氏家 晃仁, 福本 潤也
	Identifying Travel Patterns of Special Transport System Users			福岡県糸島市における地理情報システムを活用した災害リスクコミュニケーションに関する取り組み	空間的相関を考慮する組成データ解析手法の社会経済データへの適用
	Yong Eun SHIN, Tae Kyung BAEK, Heungkwan KIM, Gaya KIM, Young Woo YOO and Jiwoo JEONG			村岡 直紀, 三谷 泰浩, 池見 洋明, 月原 雅貴, 長尾 聡	吉田 崇紘, 堤 盛人

GISA-NL No.91 (2014/9/25)

2014/11/7 (金)

16:20-18:00	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
	A-4: 国際セッション (3) 司会: 山本 佳世子	B-4: 特別セッション (3)	C-4: 防災 (4) 司会: 田口 仁	D-4: コーポラティブ GIS 司会: 寺木 彰浩	E-4: 交通・道路 司会: 巖 網林
	A Study on the Application Method of Civil BIM through Cases and Policy Analysis ----- Myung-Hee Jo, Hyeong-Seop Kim and Hyeoung-Wook Choi	自治体 GIS を考える～ワークショップ&ディスカッション オーガナイザー: 浅野 和仁	津波浸水区間 GIS 整備	QGIS 日本語化の現状と課題	大縮尺道路地図を利用した道路管理支援システムに関する研究
	Comparative analysis of urban land changes in the major cities of Southeast Asia ----- Ronald Estoque and Yuji Murayama		中嶋 俊輔, 中山 忠雅, 中岡 敬典, 竹内 淳, 近藤 健一	嘉山 陽一	今井 龍一, 鳥海 大輔, 木村 篤史, 田嶋 聡司, 重高 浩一
	A Study on the Utilization of Spatial Big Data For Restaurant Business Location ----- Myung-Hee Jo and Kang-Hun Lee		2011 年東北地方太平洋沖地震津波に基づく家屋の津波被害関数構築に関する研究	オープンな地理空間情報の流通量とその国際比較	路線バスのプローブデータをを用いた道路交通網の分析手法の検討
	Land cover classification of urban area using object-based image analysis —A case study of Setagaya Ward, Tokyo— ----- Ryosuke Yamamoto, Takeki Izumi and Hiroshi Matsuyama		小川 芳樹, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介	瀬戸 寿一, 関本 義秀	王 新宇, 北村 裕介, 荒木 俊輔, 碓崎 賢一
			ハイブリッド通信によるロバストな双方向情報伝達システムの開発	コミュニティ・マッピング・参加型 GIS 導入時の要因に関する考察	ICT を用いた除排雪車位置情報システムの利活用
			田中 克佳, 小川 健太, 金子 正美, 福田 潤, 目黒 茂樹, 梅津 尚幸	山下 潤	塩崎 大輔, 橋本 雄一
			スマートフォンを用いた個人やグループによるフィールド調査支援システムの提案	オープンソース GIS を用いた平常時と災害時の情報共有システムの開発	官民連携による大縮尺道路地図の整備手法に関する研究
			村田 優介, 北村 裕介, 荒木 俊輔, 碓崎 賢一	窪田 諭, 松村 一保, 矢野 定男, 北谷 龍弥, 北川 育夫, 一氏 昭吉, 徳永 隆行, 崎山 良三	今井 龍一, 松井 晋, 深田 雅之, 木村 篤史, 重高 浩一
			X バンド MP レーダ雨量データの防災情報への応用	ソーシャルメディアを用いた駅周辺環境の把握	クラウドソーシング技術を活用した迅速かつ安価な途上国のインフラモニタリング
			西尾 雅弘, 森 正寿	三井 佑真, 吉川 真, 田中 一成	木下 裕介, 関本 義秀

2014/11/7 (金)

18:30-20:30	ホテルプラザ勝川
	懇親会 乾杯の挨拶・開催校挨拶・学会賞表彰式・次回開催校挨拶

GIS NEWS LETTER

2014/11/8 (土)

9:00-10:40	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
	A-5 : 特別セッション(4)	B-5 : 特別セッション(5)	C-5: 施設配置 司会： 玉川 英則	D-5: 商業・経済(1) 司会： 河端 瑞貴	E-5: データ収集 司会： 角本 繁
GISCA(1) オーガナイザー： 大伴 真吾		適切な国土・環境計画のための地理空間情報を活用した地域特性区分のあり方 オーガナイザー： 小荒井 衛	帰宅困難者対策施設の混雑度推計と民間施設協力による低減効果 ----- 中曽根 翼, 大佛 俊泰, 沖 拓弥	【9:20 開始】	【9:20 開始】
			国勢調査人口メッシュと避難施設データを利用した地域分析 ----- 三好 達也, 橋本 雄一		
			ZDDを用いた小地域単位の避難所割当案の高速列挙・抽出手法 ----- 瀧澤 重志	企業間取引データを用いた都市圏の新しい定義手法に関する研究 ----- 桜町 律, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介	クラウドソーシングを活用した店舗等の滞在者数推定の試み ----- 秋山 祐樹, 仙石 裕明, 西村 隆宏, 桑田 賢太郎, 朱山 裕宜, 柴崎 亮介
			自動車ルート検索活用による充電スタンド公設に関する検討 ----- 坂本 憲昭, 森 博美, 高橋 朋一, 長谷川 普一	店舗・事業所の時系列データを用いた業種間関係の定量的分析に関する研究 ----- 水野 弘規, 柴崎 亮介, 秋山 祐樹	空間構造を考慮したTwitterからの情報抽出 ----- 藤田 秀之
			駅サイン計画・管理のためのサイン管理システムの開発 ----- 久保 里枝, 生田 亮, 大川 毅昌, 中山 忠雅, 木下 貴史, 清水 智弘, 長濱 里奈	産業の共集積形態分析の試行 ----- 井上 亮, 志賀 康平	光源の特性と距離感を用いた都市夜間景観の分析 ----- 堤 博紀, 田中 一成, 吉川 真
					空間的イメージに基づいた地図検索方式の検討 ----- 坂入 威郎, 渡辺 昌志, 小中 裕喜, 泉 朋子, 仲谷 善雄

2014/11/8 (土)

10:50- 12:30	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
	A-6 : 特別セッション(4)	B-6 : 特別セッション(6)	C-6: 歴史・考古(1) 司会：市川 創	D-6: 商業・経済(2) 司会：川向 肇	E-6: データ作成(1) 司会：佐藤 俊明
GISCA(2) オーガナイザー： 大伴 真吾		災害対応における GIS の利活用の新たな可能性を探る オーガナイザー： 畑山 満則	絵図を用いた歴史的景観の把握	経済学における GIS 利活用の現状と課題	MMS 点群を対象とした樹木に影響されない建物壁面の抽出手法
			中司 涼介, 吉川 真, 田中 一成	河端 瑞貴	曾 鑫, 荒木 俊輔, 碓崎 賢一
			近世尾張の村ポリゴンデータ構築と田畑分布	企業間取引データを用いた企業取引形態の時間分析	Automatic generation of 3D Green Buildings Models for Sustainable Development
			奥貫 圭一, 溝口 常俊, 森田 匡俊, 服部 亜由未, 平松 晃一	朱山 裕宜, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介	Sugihara Kenichi, Shen Zhenjiang
			遺構情報モデルに基づいた不確かな時間属性の適用	隣接条件を考慮した事業所の立地集積度レイヤーの構築	小型無人ヘリを用いた超高解像度オルソ画像と DSM 作成の試み ー平成 24 年 7 月九州北部豪雨による斜面崩壊地を対象としてー
			村尾 吉章, 碓井 照子, 森本 晋, 清水 啓治, 清野 陽一, 藤本 悠, 玉置 三紀夫	森 博美, 坂本 憲昭, 長谷川 普一	山本 遼介, 泉 岳樹
			史料に基づく高松の変遷把握	中心市街地における多様な「賑わい」の評価法について	可視領域の特性にもとづいた地区イメージの抽出
			高橋 良尚, 吉川 真, 田中 一成	鈴木 英之	伊藤 潤, 田中 一成, 吉川 真
				ソーシャルメディアを活用した景観分析～神戸・北野界限を対象に～	人の流れデータセットを用いた人々のデモグラフィック属性の推定及び GPS データへの適用可能性に関する研究
				仲谷 恭平, 吉川 真, 田中 一成	西村 隆宏, 秋山 祐樹, 金杉 洋, Witayangkurn Apichon, 柴崎 亮介, 関本 義秀

GIS NEWS LETTER

2014/11/8 (土)

13:40- 15:40	会場 A	会場 B	会場 C	会場 D	会場 E
	A-7: 特別セッション(7)	B-7: 観光 司会: 伊藤 史子	C-7: 歴史・考古(2) 司会: 村尾 吉章	D-7: 可視化 司会: 瀬戸 寿一	E-7: データ作成(2) 司会: 泉 岳樹
	第7回マイクロジオデータ研究会 ~クラウドソーシングで実現する新しいマイクロジオデータ オーガナイザー: 秋山 祐樹	観光地浅草の回遊性向上アプリケーションの開発	『京都市明細図』と京都市の都市計画履歴	地理情報技術の学習支援ソフトへの描画スキーマの実装	被災地の環境再生モニタリングにおけるモバイル調査端末の利用に関して
		栗林 慧介, 木實 新一, 笹尾 知世	赤石 直美, 瀬戸 寿一, 福島 幸宏, 矢野 桂司	太田 守重	佐藤 俊明, 長 幸平, 内田 理
		Google Street View を用いた街案内ツールの教材利用	大阪上町台地における古地形の発達と人間活動の相関	工事計画マップ描画システムの開発	全国時空間データベース基盤の構築と多目的利用
		倉田 陽平, 相 尚寿, 真田 風, 池田 拓生	市川 創, 趙 哲済, 高橋 工, 小倉 徹也, 平田 洋司, 松田 順一郎, 辻本 裕也	丸本 広志, 坂 宏二, 富松 浩二, 松本 泰昌, 池田 智史, 中山 忠雅, 天野 健	角本 繁, 吉川 耕司, 小西 純, 畑山 満則
		都市圏スケールにおける観光動態の分析—人の流れデータの活用—	大阪の近代化変遷〜梅田と旧淀川に着目して〜	OpenLayers を用いた鉄道路線略図の作成と活用	サインに着目した鉄道駅の空間構造モデルを用いた屋内測位手法の検討
		杉本 興運, 村山 祐司	西本 貴洋, 吉川 真, 田中 一成	古川 修, 中山 忠雅, 小浦 貴明, 大塚 雅紀, 岩嶋 亮太, 林 博文	清水 智弘, 吉川 真
		ファジィ AHP による観光地の地域特性分析	明治初期の町村域 GIS データ作成—長野県を事例として—	ラベル配置における総交差数最小化問題	ダッカ首都圏における匿名化された携帯電話データ分析による ユーザーの世帯属性推計に関する研究
		川村 真也, 深田 秀美, 橋本 雄一	服部 亜由未, 奥貫 圭一, 溝口 常俊, 森田 匡俊, 平松 晃一	尾野 航平, 森口 昌樹, 今井 桂子	新井 亜弓, Witayangkurn Apichon, Shao Xiaowei, 柴崎 亮介
		GPS データを用いた歩行散策行動の抽出に向けた基礎分析			自主防犯活動の現場における準天頂衛星システムの測位精度改善の検討
		相 尚寿, 田中 昂助, 直井 岳人			原田 豊, 齊藤 知範, 山根 由子

2014/11/8 (土)

16:00- 16:20	会場 A
	閉会式(優秀発表賞の表彰を含む)

特別セッション案内

特別セッション(1)

学校における地理教育の見通しと GIS

オーガナイザー：酒井 高正

7 日（金）12：40-14：20

以下のような 3 部形式を予定している。

【第 1 部】「2014 年度初等中等教育における GIS を活用した授業に係る優良事例」表彰式：本学会が主催し教育委員会の責任において審査を行う上記の表彰事業について、「国土交通大臣賞」、「地理情報システム学会賞」、「毎日新聞社賞」の受賞者を招き、表彰式を執り行う。

【第 2 部】優良事例の発表会：GIS を活用した授業を実践している事例について上記の各賞を受賞された教員の方々から、その内容をご紹介いただき、他の学校での実践の可能性等について探る。

【第 3 部】中・高等学校などにおける地理教育の見通しと GIS 活用に関する小シンポジウム：高等学校における地理教育の見通しが厳しい現在において、地理教育の重要性を GIS を軸に考えるミニシンポジウムを行う。パネリスト等は調整中。

特別セッション(2)

オープンな GIS はどこまで可能か？

-Daniel Sui 教授を迎えて-

オーガナイザー：瀬戸 寿一

7 日（金）14：30-16：10

2010 年代以降の GIS 研究は、FOSS4G に代表されるオープンソース GIS に加え、オープンガバメントに基づくデータ共有やオープンサイエンス文化の浸透など、多様なオープンに呼応する側面が見え始めている。このような動向は地理情報システム・サイエンスとしてのイノベーションを加速するのみならず、データ流通や標準化をめぐる社会-政治-法制度、さらには GIS 教育の機会拡大などにも大きく影響を及ぼしつつある。本セッションは、オープンな GIS に関する論文や著作を発表されているオハイオ州立大学の Daniel Sui 教授をお招きし、世界的動向と日本の状況を交えながら、オープンな GIS をめぐる課題と展望について議論する。

特別セッション(3)

自治体 GIS を考える

～ワークショップ&ディスカッション

オーガナイザー：浅野 和仁

7 日（金）16：20-18：00

自治体 GIS の取り組みが始まって 20 年を経過した。それぞれの時代において様々な課題を乗り越え、今では多くの自治体が GIS を行政事務に取り込み活用している。しかし、基盤地図情報の更新や、コンテンツやアプリの標準化、人事異動による運用体制の弱体化など検討すべき課題はたくさんある。前半のワークショップでは、自治体 GIS における基盤データ系、コンテンツ系、運用系に班編成したチーム毎に課題を抽

出整理し、それらがどのように自治体現場に影響を及ぼしているのかを討論する。後半のパネルディスカッションでは、各グループの代表者（パネラー）から討論の報告を受け、最初に基盤データ系について、中盤はコンテンツ系について、終盤は運用系について、意見交流を行い、最後に今後の自治体 GIS の方向性を示唆するまとめを行う。なお当セッションの議論内容等は後日文書化し、学会サイト等を通じて多くの自治体関係者に提供する予定。

特別セッション(4)

GISCA 特別セッション

オーガナイザー：大伴 真吾

8 日（土）9：00-12：30

GIS 事業分野の担い手として、GIS 上級技術者（GISE）資格が注目されつつあるが、当分野の更なる発展を期するためには、個々の経験に基づく知見や新たに開発した技術を共有し、議論する場が欠かせない。また、GISE 資格の有効期限は 5 年間であり、その間に、GIS 分野に対して一定の貢献をすることが義務付けられている。このような背景のもと、本セッションは、資格をもつ発表者には貢献の機会を与え、参加者には教育の機会を与えることを通じて、相互研鑽することを目的に、開催するものである。また、GISE 資格の取得を目指す人々や興味をもつ人々の参加も歓迎したい。

特別セッション(5)

適切な国土・環境計画のための地理空間情報を活用した地域特性区分のあり方

オーガナイザー：小荒井 衛

8 日（土）9：00-10：40

第 22 回地理情報システム学会の企画セッション「レジリエントな国土・地域社会の構築のための地理空間情報の活用」（Web で開催）において、地理空間情報を活用した地域特性区分の重要性を主張した。今回の企画セッションでは、前回の企画セッションの内容を受けて、具体的な地域事例を取り上げることで、災害特性による地域区分と景観特性による地域区分との統合を目指し、企画者らが提案する地域特性区分方法や区分案の是非について、関係有識者を交えた意見交換を行う。

特別セッション(6)

災害対応における GIS の利活用の新たな可能性を探る

オーガナイザー：畑山 満則

8 日（土）10：50-12：30

防災 GIS 分科会では、これまでに災害時の GIS を用いた支援活動を展開してきた。被災地で活動すると GIS を利用すれば効果的と思われる場面に多々出くわすが、その時点では支援活動を行う人材を集めることが難しく、この点について様々な議論がなされてきた。

また、2014 年 3 月には、内閣府で災害対策標準化検討会議

報告書

<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/kentokaigi/index.html>

がまとめられ、G 空間情報や GIS への期待がさらに高まりを見せている。その一方で、近年では、フリーソフト、オープンデータが整備されつつありこれによりインターネット上での支援活動も積極的に行われるようになってきた。そこで、本企画セッションでは、災害対応に GIS を利用するための課題について、最新事例をもとに議論することで、新たな災害対応支援の可能性について探る。

特別セッション(7)

第7回マイクロジオデータ研究会

～クラウドソーシングで実現する新しいマイクロジオデータ～

オーガナイザー：秋山 祐樹
8 日（土）13：40～15：40

我々は「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会を発足させ、これまでにマイクロジオデータの普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。「マイクロジオデータ (MGD)」とは位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細な（例えば建物や人単位）「ビッグデータ」の総称のことを言います。MGD は既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。

毎年恒例となりました本セッションでは、昨年に引き続き本研究会の紹介を行うとともに、MGD を用いた研究を行っている研究者による研究紹介や、MGD の利活用が期待される領域の実務者等による講演が行われます。今年は「クラウドソーシング」がテーマです。これまでのクラウドソーシングによる MGD 整備や、新しい MGD 実現への取り組み、またその課題についての講演と、有識者らによるパネルディスカッションが予定されています。クラウドソーシングによる MGD の開発・利活用に関する研究の最先端を知っていただくとともに、その課題や今後の可能性について議論出来ればと考えています。

ハンズオンセッション

※いずれのセッションも、参加希望者は予め講師宛に参加申し込みを行って下さい。

※参加者は各自、PC を持参して下さい。

1. QGIS&R ハンズオン

講師：縫村 崇行（千葉科学大学）、
E-mail: tnuimura@cis.ac.jp

オープンソース GIS ソフトウェアの QGIS と統計解析言語の R を用いた空間解析についてのハンズオンです。QGIS では、様々な外部プログラムとの連携が可能となるプロセッシング

という機能が実装されており、統計解析に強い R 言語などを呼び出して様々な空間統計解析や可視化が用意に可能となります。こちらのハンズオンでは GIS の基礎知識があり QGIS の利用経験がある方を対象として QGIS での R 言語の機能呼び出しについて紹介します。R 言語に関しては多少の使用経験があるのが望ましいですが、初心者でも構いません。

2. クラウド GIS を利用した基礎的な GIS 教育教材の作成と共有

講師：土田 雅代（ESRI ジャパン(株)）、
E-mail: masayo_tsuchida@esri.jp

ESRI ジャパンは、大学や高専の教員とともに GIS による主題図作成をテーマとする教材の作成を進めてきた。この教材は、主題図作成という GIS 教育においては基礎的な内容からなり、その対象には地理学や都市工学などだけではなく、GIS を専門としないような大学生や一般の社会人も含んでいる。また、大学教育および企業向け研修でも利用できるように内容を目指している。この教材の特色は、利用者（教育・研修の担当者）が、この教材の全部または一部を自由に抜き出し、編集したうえで、自身の用途に沿った教材が作成できるようになっている点にある。本セッションでは、本教材のねらいや基本的な特徴および利用方法を紹介するとともに、クラウド GIS である ArcGIS Online を利用した、各自の用途に適した教材作成や作成した教材の共有方法などについて、要点を紹介する。そのうえで、参加者にも実際に教材を作成してもらいながら、教材の活用方法や改善すべき点などについて議論を深める。

3. 第3回マイクロジオデータ講習会 ～Mobmap による人流データ解析入門～

講師：秋山 祐樹（東京大学地球観測データ統融合連携研究機構）、
E-mail: aki@iis.u-tokyo.ac.jp

我々は「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会を発足させ、これまでにマイクロジオデータ (MGD) の普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。また MGD の利用者の拡大と MGD を活用した研究促進のため、様々な MGD の操作・分析方法に関する講習会も行ってきました。

本研究会としては第3回となる MGD 講習会では、Mobmap と呼ばれる GIS ソフトを活用して、大規模人流データの可視化・解析を行います。Mobmap は Google Chrome アプリとして開発された、時系列データの可視化・分析が可能な次世代の時空間 GIS です。受講者にはご自身の PC に実際に Mobmap をインストールしその操作を体験して頂くとともに、twitter のジオタグツイートに基いて開発された擬似的な大規模人流データを可視化し、更にポリゴンデータと組み合わせた分析なども体験して頂く予定です。時系列データや人流データ、ビッグデータに興味がある方、新時代の GIS に興味の有る方は是非ご参加下さい。

4. SfMによる簡単三次元モデリング

講師：内山 庄一郎（防災科学技術研究所），
E-mail: uchiyama@bosai.go.jp

SfM（Structure from Motion）とは複数の写真から被写体の立体形状を復元する技術です。操作が容易な GUI を持つ安価なソフトウェアが市場に出たことにより，専門家でなくて

もこの技術を利用できるようになりました。ハンズオンでは，普通のデジカメやスマートフォンで地形模型を撮影し，地上基準点を与えて立体地形モデルを出力するまでの一連の作業を行います。デジカメを UAV に乗せて調査地の詳細地形図を得たり，空中写真から過去のオルソ画像を作成したり，その応用は無限大です。地形データを自分で作る時代の到来です。ぜひ，ご参加ください。

ポスターセッション	
1	観光スポットの安全な推薦を目的とした AR レコメンド GIS の構築に関する研究 藤田 駿，山本 佳世子
2	観光回遊行動支援を目的とした AR メディア GIS 構築に関する研究 周 嘉文，山本 佳世子
3	何曜日何限に震災が起きた場合の大学キャンパス建物避難経路混雑度シミュレーション 政金 裕太，岡部 篤行，荒木 大輔，岡村 吉泰，川島 如恵留，木村 謙
4	「神社力」解明に向けた自然災害発生リスクに対する神社の立地の空間解析 藤田 直子
5	体験農園利用後の活動継続可能性を想定した周辺土地利用分析 河野 誠，藤田 直子
6	農体験と緑とのふれあい活動に着目した老人ホーム周辺の土地利用分析 李 軼穎，藤田 直子
7	九州・沖縄のランドスケープ遺産の県別特徴と分布傾向 小林 秀輝，大宅 彩子，藤田 直子
8	高齢者の公園利用における行動分析 横山 祐宜，藤田 直子
9	福岡県内の農業体験農園における地域分析 坂根 一浩，河野 誠，藤田 直子
10	地方中枢都市における低・未利用地の発生 上野 勇氣，藤田 直子
11	ランドスケープ遺産に対する住民の意識と保全に関する研究 大宅 彩子，小林 秀輝，藤田 直子
12	津波避難場所としての神社の有効性の検討 板垣 早香，藤田 直子
13	中国における地域水資源の将来的な利用可能性 水谷（秋山） 千亜紀，戴 瀚程，岡寺 智大，東 博紀，増井 利彦，越川 海，村上 正吾
14	京都府南丹市におけるアライグマの社寺侵入被害の空間分析 米島 万有子，中谷 友樹，川道 美枝子，今村 聡，山本 憲一
15	ICESat レーザー高度計を用いた氷河の表面高度変化の補正と再評価 縫村 崇行，藤田 耕史，坂井 亜規子
16	来訪者の動きに着目した歴史的町並みを活かした観光地の類型化に関する研究 河地 薫子，関本 義秀，秋山 祐樹，柴崎 亮介，足立 龍太郎
17	マルチスケールに着目した土地利用変化の分析—千葉県を事例として— 太田 慧，杉本 興運
18	徳島県美波町日和佐浦地区における景観特性に関する研究 胡 文強，渡辺 公次郎，塚本 章宏，近藤 光男
19	コンサベーション GIS コンソーシアムジャパンの設立と情報公開 金子 正美，日野 彰彦，名取 洋司，橋本 寛治，赤松 里香
20	幅による水田の類型化手法の精度と再現性 Sprague D. S.，岩崎 亘典
21	結婚・夫婦出生力変動の地域格差とその要因—GWR によるローカルモデル推定— 鎌田 健司

（次項に続く）

GIS NEWS LETTER

ポスターセッション

(前項からの続き)

22	市民参加型植物調査「北海道フラワーソン」における GIS の活用と情報公開 橋本 寛治, 渡辺 修, 丹羽 真一, 田中 克佳, 金子 正美
23	統計 GIS を用いた分析手法と高度利用について 中原 和郎, 相田 昇
24	サケと大型猛禽類による海からの栄養物質輸送 松本 経, 中山 恵介, 渡辺 謙太, 桑江 朝比呂
25	琵琶湖淀川流域を対象とした流域診断手法の開発とクラウド GIS による情報共有—日本版 Surf Your Watershed を目指して— 原 雄一, 佐藤 祐一, 片山 篤
26	自主防犯活動の現場における準天頂衛星システムの測位精度改善の検討 原田 豊, 齊藤 知範, 山根 由子
27	ハイブリッド通信によるロバストな双方向情報伝達システムの開発 田中 克佳, 小川 健太, 金子 正美, 福田 潤, 目黒 茂樹, 梅津 尚幸
28	SfM による空中写真の広域オルソ画像作成 内山 庄一郎
29	クラウドソーシングを活用した店舗等の滞在者数推定の試み 秋山 祐樹, 仙石 裕明, 西村 隆宏, 桑田 賢太郎, 朱山 裕宜, 柴崎 亮介
30	携帯電話の基地局通信履歴を用いた人々の活動分析 菅野 卓也, 金杉 洋, 関本 義秀, 柴崎 亮介
31	企業間取引データを用いた都市圏の新しい定義手法に関する研究 桜町 律, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介
32	クラウドソーシング技術を活用した迅速かつ安価な途上国のインフラモニタリング 木下 裕介, 関本 義秀
33	シミュレーションと断片的な観測データの同化による平常時と異なる人の流動の予測 矢部 貴大, 関本 義秀, 金杉 洋, 樫山 武浩
34	企業間取引データを用いた企業取引形態の時空間分析 朱山 裕宜, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介
35	国土のエリアマネジメントのための地域特性区分—関東甲信越エリアを事例に— 芮 京祿, 水内 佑輔, 小荒井 衛, 中埜 貴元
36	大規模な人々の流動データセット整備へ向けた基盤技術の検討 金杉 洋, 樫山 武浩, 関本 義秀, 柴崎 亮介

第 10 回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベルの向上を図る目的で、本年度も「大会優秀発表賞」を設けます。以下の条件を満たす方が対象となります。

- ・本学会の学生会員であること (2014 年 7 月 15 日までに事務局に入会届が到着した方を含みます。但し、2014 年度までの年会費完納者)
- ・修士号未修得であること
- ・講演発表の発表者であること

上記のうち研究(論文)内容、発表技術の優秀者からセッション司会者及び発表を聴講していた審査員が推薦し、学会賞委員会の議論を経て受賞候補者を、最終的に理事会により受賞者を決定します。数は特に定めません。

尚、受賞者には、賞状を後日送付するとともに、ニューズレター92号に所属・氏名を発表します。

第 3 回ポスターセッション賞

ポスターセッションの質疑応答などの活性化をはかるため、今年度も学会賞を設けます。審査方法等の詳細については後日、メールニュースや Web 上でお知らせします。

機器展示 (申込順)

〇株式会社古今書院

展示名称:『ジオビジネス』『ジオデザインのフレームワーク』ほか GIS 関連書籍

展示概要: GIS 書籍の発行点数ナンバー 1 の出版社です。今年も『ジオビジネス—GIS による小売店の立地評価と集客予測』(高阪宏行著)や『ジオデザインのフレームワーク』(C. スタイニッツ著/石川幹子・矢野桂司編訳)など新刊が続々登場。GIS ビギナーから

ミドルユーザーまで利用目的に応じた数々の書籍を
展示し、すべて 15%引で販売します。出版企画のご
相談も大歓迎です。

□株式会社 NTT データ数理システム

展示名称: Numerical Optimizer

(ニューメリカルオプティマイザー)

展示概要: 最適化ソフト Numerical Optimizer のご紹介を致
します。GIS と関連する分野としましては施設配置
問題・配送計画問題等、答えを出すのに困難な問題
に対して強力にサポート致します。その他統計解析
ツール S-PLUS やデータマイニングソフト Visual
Mining Studio, テキストマイニングソフト Text
Mining Studio も合わせてご紹介いたします。

□ESRI ジャパン株式会社

展示名称: ArcGIS10.2.2/ArcGIS データコレクション 2015

展示概要: ArcGIS Online には、背景図だけではなく、①デ
ータの共有 ②リアルタイムにモニタリング ③現
地調査 に活用できる便利な機能があります。今回は、
あらゆる環境で GIS コンテンツやサービスを提供で
きる ArcGIS Online を中心に、デモンストレーショ
ンを交えてご紹介いたします。最新のデータコレクショ
ン 2015 もご紹介いたしますので、お見逃しなく！

□オートデスク株式会社

展示名称:

1. 3次元 GIS・CIM ツール Autodesk InfraWorks
2. FOSS4G ソフトウェア (OSGeo 財団日本支部)

展示概要:

1. CIM/GIS の連携を具現化する 3 次元 GIS/CIM ツー
ルの Autodesk InfraWorks 展示
2. OSGeo 財団日本支部の有志により QGIS などの
FOSS4G ツールを展示および OSGeo 財団日本支部の紹
介

賛助会員のみなさま

大会会場にて「業界説明コーナー」(賛助会員限定)を
併設します。

学生に会社の業務内容を説明し、仕事の内容を理解して
もらうための意見交換の場を想定しています。

会場は、受付を設置している建物と一緒にです。(リサー
チセンターを予定)

ご希望の方は事務局 (office@gisa-japan.org) まで、
お申し込みください。

メール件名: 業界説明コーナー参加希望

「1. 会社名」「2. 担当者氏名」「3. 連絡先メールア
ドレス」「4. 希望日 (11/7のみ, 11/8のみ, 両日)」

コアタイムは12:30~13:30, 机と椅子をご用意します。
締切は10月31日 (金) です。

委員会報告

GIS 資格認定協会

大伴真吾

5月31日にGIS資格認定協会(GISCA)全体会議を開催し、
矢野桂司代表(GIS学会長)の下、新たな体制で活動を開始
いたしました。

GISCAでは、GIS学会年次大会にてGISCA特別セッションを
開催します。GIS上級技術者登録数は8月末時点で411名お
りありますが、前半のセッションではそのGIS上級技術者の方々
にご登壇いただき、GIS上級技術者の未来が見えるテーマで
お話をいただきます。後半は「これからのGIS技術者に求め
られる技術」をテーマにパネルディスカッションを行います。
GIS上級技術者の方はもちろん、これからGIS上級技術
者取得を目指す方も奮ってご参加くださいますよう、お願い
いたします。

また、連携学協会として次の2つの団体が追加されました。

・OSM Foundation Japan

・OSGeo 財団日本支部

今後は、これらの団体とも協力してGIS上級技術者のさら
なる普及、教育プログラムの充実等をすすめていく予定です。

学会後援行事等のお知らせ

■主催 ■G 空間 EXPO シンポジウム

『一般市民向けの地理空間情報の利活用に向けてーGIS教育
を中心にー』

地理空間情報を活用しての日常生活の利便性向上がどのよう
にはかれるのかを、具体的な事例を含めて紹介する。その中
には、学校教育や市民教育などの教育分野での利活用も含ま
れている。また、一般市民に無意識に地理空間情報を活用し
てもらえるようには地理空間情報がどのような要件を満たす
必要があるか議論する。

主催: (一社) 地理情報システム学会

会期: 2014年11月15日(土) 13:45~17:00

会場: 日本科学未来館 会議室2

詳細は後日、webやメールニュースでご案内します。

■共催 ■G 空間 EXPO シンポジウム

『地球観測衛星に期待される新たな展開』

主催: (一社) 日本写真測量学会

会期: 2014年11月13日(木) 14:00~17:00

会場: 日本科学未来館 会議室1

■後援 ■第9回特別講演セミナー

『防災・減災のためのG空間情報』

会期: 2014年10月22日(水)

会場: 朱鷺メッセ

詳細: <http://www.niigatagis.com/>

(申込締切: 9月30日)

■後援■GIS Day in 関西 2014

会期： 2014 年 10 月 25 日（土）
会場： 立命館大学 衣笠キャンパス
詳細： <http://www.rits-dmuch.jp/jp/index.html>

■後援■GIS Day in 北海道 2014

会期： 2014 年 10 月 31 日（金）～11 月 1 日（土）
会場： 酪農学園大学 中央館 1F-2F と A1 号館
詳細： <https://www.rakuno.ac.jp/dep25/gisday2014/>

■5th Digital Earth Summit 2014

大会期間： 2014 年 11 月 9 日（日）～11 日（火）
会場： ウィンクあいち（名古屋）
詳しくは… <http://isde-j.com/summit2014/>

■INQUA（国際第四紀学連合）2015 名古屋大会のご案内

大会期間： 2015 年 7 月 27 日（月）～8 月 2 日（日）
会場： 名古屋国際会議場
《 今後のスケジュール 》
2014 年 12 月 20 日（土）：口頭・ポスター発表の申込締切
2015 年 2 月 28 日（土）：早期登録締切
詳しくは… <http://inqua2015.jp/>

なお、ニュースの配信は、毎月第 2・第 4 金曜日を目安にしています。

＜お送りいただく情報＞

イベントの場合

・イベント名 ・URL ・日時（年は西暦/時間は 24 時間表記）
・会場名 ・主催

お知らせの場合

・タイトル ・URL ・内容は 200 文字程度

公募の場合

公募情報の依頼が出来るのは、賛助会員と教育関係の方だけです。

・タイトル ・概要、分野 ・機関名 ・所属
・職名 ・URL（詳細情報）

■会議の場所をご提供します

分科会（SIG）、委員会、支部など、学会活動に関すること
で会議をしたいが場所が無い…という方は、事務局までお申
し出ください。事務局が入居している学会センタービルの地
下に、貸会議室があります。予約制ですので、お早目にお問
い合わせください。

料金：無料

時間：月曜日から金曜日の 10：00～17：00

注意：インターネットのご利用は出来ません

事務局からのお知らせ

■大会事前登録をお勧めします

今回は受付と発表会場の建物が離れておりますので、なる
べく事前登録をご利用ください。

登録締切： 10 月 20 日（月）

詳しくは、大会 web をまたは以下をご覧の上、FAX にてお
申し込みください。

http://www.gisa-japan.org/conferences/registration_2014.doc

■事務局閉室のお知らせ

学術研究発表大会の開催にともない、11 月 5 日（水）～
10 日（月）の間、事務局は閉室となります。メール対応も
出来ませんので、ご注意ください。

■変更届提出のお願い

就職、転職、所属や自宅の場所が変わった等々の場合、速
やかに変更届をご提出ください。変更はオンラインで出来ま
す。 <https://www.gisa-japan.org/member/login.php>

■メールニュースへの掲載ご希望の方へ

学会では個人会員を対象に、メールニュースを配信してい
ます。

内容は学会からのお知らせ、関連イベント、公募情報が主
ですが、こちらに掲載をご希望の方は、以下の「お送りいた
だく情報」をご参照の上、事務局までお申し込み下さい。

（ホームページ上でもご案内しております。

<http://www.gisa-japan.org/news/request.html?id=02> ）

探しています

金澤 詳浩 氏
中田 安彦 氏

今年度までの年会費はお納めいただいておりますが、現
在、メール、電話を含め、所在不明となっております。

既刊の学会誌等をお届けしたいと思っておりますので、
ご存知の方は、ご本人に事務局に連絡を入れてくださるよ
うお伝えいただくか、本部事務局までご連絡ください。

2014 年 8 月末現在の個人会員 1246 名、 賛助会員 65 社

賛助会員

(2 口) NTT タウンページ㈱
(1 口) アクリーグ㈱, 朝日航洋㈱, アジア航測㈱, いであ㈱, ㈱インフォマティクス, ESRI ジャパン㈱, ㈱NTTデータ数理システム, 愛媛県土地家屋調査士会, 応用技術㈱, 大阪土地家屋調査士会, オートデスク㈱, ㈱オオバ, ㈱かんこう, 関東甲信越東海GIS技術研究会, ㈱岐阜県建設研究センター, 九州GIS技術研究会, 協同組合くびき野地理空間情報センター, 近畿中部北陸GIS技術研究会, ㈱こうそく, 国際航業㈱, 国土情報開発㈱, ㈱古今書院, 寿精版印刷㈱, GIS総合研究所いばらき, ㈱GIS関西, ジェイアール西日本コンサルタンツ㈱, ㈱JPS, ㈱ジオテクノ関西, ㈱ジオプラン, ㈱昭文社, ㈱ジンテック, ㈱ゼンリン, ㈱谷澤総合鑑定所, 玉野総合コンサルタンツ㈱, 中四国GIS技術研究会, テクノ富貴㈱, 東北GIS技術研究会, ㈱ドーン, 内外エンジニアリング㈱, 長野県GIS協会, にいがたGIS協議会, 日本エヌ・ユー・エス㈱, 日本コンピュータシステム㈱, 日本情報経済社会推進協会, 日本スーパーマップ㈱, ㈱日本測量調査技術協会, 日本土地家屋調査士会連合会, ㈱日本地図センター, パシフィックコンサルタンツ㈱, ㈱パスコ, 東日本総合計画㈱, 北海道GIS技術研究会, ㈱マップクエスト, ㈱松本コンサルタント, 三井造船システム技研㈱, ㈱三菱総合研究所, 三菱電機㈱, ヤフー㈱, ㈱リモート・センシング技術センター
自治体会員：(1 口) 大阪府高槻市役所, 経済産業省特許庁, 総務省統計局統計研修所, 長野県環境保全研究所, 福岡県直方市

学会分科会連絡先一覧

- 自治体：浅野和仁（大阪府富田林市）
事務局：青木和人（あおきgis研究所 Tel 050-5850-3290）
E-mail: kazu013057@gmail.com
- ビジネス：高阪宏行（日本大学 Tel 03-3304-2051）
E-mail: kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp
- 防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333）
E-mail: hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp
- 土地利用・地価GIS：碓井照子（奈良大学）
事務局：西端憲治（㈱セイコム Tel 0721-25-2728）
E-mail: totiriyo-sig@seicom.jp
- 時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001）
E-mail: yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp
- 地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京 Tel 042-677-2601）
E-mail: wakaba@tmu.ac.jp
- セキュリティSIG：内布茂充（行政書士 内布事務所 Tel 090-2284-4125）
E-mail: spcn87q9@royal.ocn.ne.jp
- FOSS4G分科会：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学）
連絡先：嘉山陽一（朝日航洋㈱ TEL049-244-4032）
E-mail: youichi-kayama@aeroasahi.co.jp

地方支部の連絡先一覧

- <北海道支部>
支部長：北海道大学 橋本雄一
Tel: 011-706-4019, E-mail: you@let.hokudai.ac.jp
- <東北支部>
支部長：東北大学 井上亮
Tel: 022-217-6368, E-mail: rinoue@plan.civil.tohoku.ac.jp
- <北陸支部>
支部長：新潟大学 牧野秀夫
Tel: 025-262-6749, E-mail: makino@ie.niigata-u.ac.jp
- <中部支部>
支部長：中部大学 福井弘道
連絡先：杉田暁（中部大学）
Tel: 0568-51-9894（内線 5714）, E-mail: satoru@isc.chubu.ac.jp
- <関西支部>
支部長：大阪工業大学 吉川眞
連絡先：田中一成（大阪工業大学）
Tel: 06-6954-4293, E-mail: gisa@civil.oit.ac.jp
- <中国支部>
支部長：広島工業大学 岩井哲
Tel: 082-921-5486, E-mail: s.iwai.i5@it-hiroshima.ac.jp
- <四国支部>
支部長：徳島大学 塚本章宏
Tel: 088-656-7616, E-mail: tsukamoto.akihiro@tokushima-u.ac.jp
- <九州支部>
支部長：九州大学 三谷泰浩
Tel: 092-802-3399, E-mail: gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp
- <沖縄支部>
支部長：琉球大学 町田宗博
E-mail: machida@ll.u-ryukyu.ac.jp
連絡先：有銘政秀（(株) ジャスミンソフト）
Tel: 098-921-1588, E-mail: arime@jasminesoft.co.jp

■ 編集後記 ■

「クラウド」と「ビッグデータ」ー最近、この言葉を聞かない日がないくらい社会に浸透してきているが、その意味するところは、実に様々な定義がされているように思う。単に「狭義ー広義」だけで語れない、どこか（核心から離れた）スポット的な定義である場合や、幾重もの階層を経て定義づけされる場合等々。実は最近の「GIS」という言葉も似たような感覚なのかもしれないなあ・・・なんてことを考えながら、大会プログラムを中心に構成した今号は、事務局の提案でプログラムを初(?)の表組みに、できあがってみると、並行して行われているセッションの沢山の発表内容が一目でわかる！。でも、編集後記は雲をつかむような感じに・・・（阪田知彦）

地理情報システム学会ニューズレター

第 91 号 ●発行日 2014 年 9 月 25 日

■発行

一般社団法人 地理情報システム学会

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階
TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org
URL: http://www.gisa-japan.org/

■ 弥生雑記 ■

11 月の研究発表大会は、受付と口頭発表会場が、全く別の建物にあります。また発表会場（教室）の決定は本号がお手許に届く頃に、そろそろ…という状況だと思います。決まり次第、メールニュース（現在届いていない方、お申し出いただければ、すぐに配信の手配をします）や学会 web でご案内しますが、開催校の中部大学は大変広い大学です。また、大会期間中は通常どおり大学で授業が行われています。時間に余裕を持って、ご来場ください。
なお、大会事前登録を済ませた方には、参加証（名札）、領収書、大会論文集とともに、会場の案内図もお送りすることになっています。当日、受付の行列に並ぶ必要が無くなる（しかも最大 3,000 円割安）ので、是非、お申し込みをご検討ください。（10 月 20 日締切）
大会は、みなさまにお目にかかれる貴重な機会です。昨年は台風で大会が中止となったため、準備に忙殺されながらも、今年は例年に増して、浮き立つような楽しい気分も感じております。どうぞお氣をつけてお越しください。（学会事務局）